

シスタチンCによる推算GFR(eGFRcys) サービス報告開始について

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

このたび、日本腎臓学会で発表された「CKD診療ガイド2012」に基づき、クレアチニンを用いた推算GFRに加えて、シスタチンCによる推算GFR値のサービス報告を開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。

当所におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

● 実施日 2013年5月27日(月)ご報告分より

● 新サービス報告項目

項目コード	検査項目
4976	eGFRcys

● 変更内容

なお、既に実施しておりますクレアチニンによる推算GFRは、「eGFRcreat」と名称を変更させて戴きます。名称以外の変更はございません。

項目コード	新 名称	現 名称
4859	eGFRcreat	eGFR値(推算式)

<eGFRcys（血清シスタチンCによる推算 GFRcys）>

eGFRcysの正確度は血清クレアチニンに基づく推算式と同程度です。血清シスタチンCは、筋肉量や食事、運動の影響を受けにくい為、血清クレアチニンによるGFR推算式では評価が困難な場合に有効と思われます。

- ・筋肉が少ない症例（四肢切断、長期臥床例、るいそうなど）
- ・筋肉が多い症例（アスリート、運動習慣のある高齢者など）

血清シスタチンCは妊娠、HIV感染、甲状腺機能障害などで影響されるため注意が必要です。

<eGFRcysの報告条件>

血清シスタチンC（項目コード：4788）と同時に、eGFRcys（項目コード：4976）をご依頼いただき、年齢と性別が依頼書に記載されている場合のみeGFRcysを報告させて戴きます。

● 参考資料 日本人のGFR推算式

男性： $eGFRcys (mL/min/1.73m^2) = (104 \times Cys-C^{-1.019} \times 0.996^{Age}) - 8$

女性： $eGFRcys (mL/min/1.73m^2) = (104 \times Cys-C^{-1.019} \times 0.996^{Age} \times 0.929) - 8$

血清シスタチンCは国際的な標準物質に基づく測定結果を用いて推算します。

18歳以上に適用されます。（18歳未満には適用しません。）